



**再選めざす 日本共産党**  
**そねはじめレポート**  
 2010年 7月15日発行 第22号

そねはじめ事務所  
 114-0032  
 北区中十条2-11-6  
 Tel: 3907-1135  
 Fax: 3906-3225

## 小池晃候補次点・比例で田村智子はじめ3議席 “北区で4位”のご支援に励み奮闘します

7月11日投開票の参議院選挙で、消費税10%構想で自民党に相乗りを凶った民主党菅政権は大きく議席を減らし、与党が過半数を割り込みました。

日本共産党は東京選挙区に挑戦した小池あきら政策委員長が次点にとどまり、比例でも前回並みで1議席減の3議席に後退し、ご支援にこたえられなかったことを深くお詫びします。

### ●消費税に一定の歯止めかけたが政治の逆流の危険も

消費税増税には、有権者の審判で一定の歯止めをかけたものの国会の状況は予断を許しません。「将来はともかく先に増税ありきは許さない」という勢力の連携を広げ、増税ストップの世論と運動を北区の地域からも広げていこうではありませんか。

さらに医療・介護の改革、雇用・経済対策など政治の前進めざして、地域からの運動を進めていく決意です。

### ●社会保険病院存続法案成立にかげりが

社会保険病院存続の受け皿となる「地域医療機能推進機構」法案が、選挙前の国会で審議未了・廃案となりましたが、選挙の結果「臨時国会を早期に開き9月末の病院保有者・RFO（売却のための整理機構）消滅までに新法案を再提出し成立させる」という民主党の約束が実行されるかが微妙になりました。

参議院の新たな議席も公的存続推進派が17議席減（民主、共産、社民、公明、国民）、法案反対派が17議席増（自民、みんな、他）で、これまで賛成してきた会派の動揺があれば、法案が再提出されても、衆参のねじれで否決される危険もなしとしません。

北区民の皆さんと国立病院廃止計画以来24年間がんばってきた運動をここで挫折させるわけには行きません。

改めて区民世論をたかめながら全力をあげます。（写真は水害調査のそねはじめ前都議ら）

**堀船王子豊島の水害地域を調査  
 北区・都・首都高速(株)に緊急要請へ**

7月5日石神井川溢水被害は堀船で約5百戸に及ぶ大被害となりました。

山崎たいこ子・福島宏紀区議とそねはじめ前都議は被害のひどいたばこ倉庫付近はじめ一帯を調査、被害者にお話を伺いました。

5年前の首都高王子線手抜き工事による水害の教訓が生かされず前回修理箇所ですぐ下流護岸から浸水してしまう結果となりました。直ちに緊急護岸かさ上げ、何よりも被災者への万全の保障対策を求めていくつもりです。

